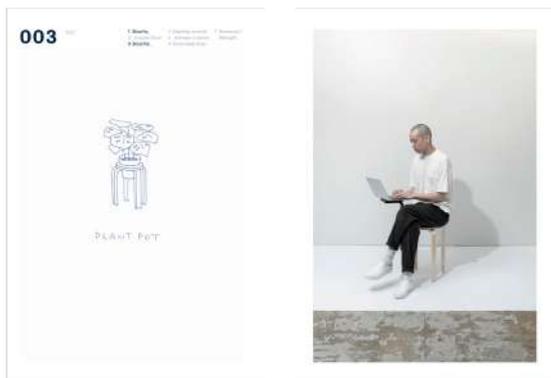


2022年2月末 配本予定

Hackability of the Stool スツールの改変可能性

定価 5000 円 + 税 | ISBN978-4-9911475-17 | C1072

128 × 175mm (東厚 36mm) | 622 頁 | 4C オフセット (本文)、1C リソグラフ (差込)、箔押 (表紙) | PUR 製本
著 元木大輔 / DDAA LAB | 写真 長谷川健太 | 対談 元木大輔 x 水野祐、甲斐貴大、角田和也 | 編 飯沼珠実 | デザイン 高室湧人



気鋭の建築家・元木大輔 (1981-) による「Hackability of the Stool スツールの改変可能性」は、アルヴァ・アアルトの名作椅子「Stool 60」をモチーフに、最大公約数なデザインの過程で削ぎ落とされてしまった、多様で、ニッチで、ささやかな機能を付加することで、その機能の拡張を探索したプロジェクトです。330 点余りのスケッチをふまえ、100 のアイデアが実際に制作されました。

本書は、これら 100 脚の写真 (撮影:長谷川健太) に加えて、330 点余りのアイデアスケッチを一挙に収録します。またアルテック社の協力によりアアルトの「L - レッグ」をめぐるアーカイブ写真の掲載が実現、これらは Zine やリトルプレスシーンで人気のリソグラフで印刷され、その表情が楽しい仕上がりとなっています。

本書の冒頭には、元木による書き下ろしの小論文「『原っぱ』は設計できるか? —『Hackability of the Stool』の先にあるもの」(約 15,000 文字) を収録します。さらに 3 本の対談では、水野祐 (弁護士)、甲斐貴大 (studio arche 代表)、角田和也 (DDAA スタッフ) をゲストに迎え、「Hackability of the Stool」のオモテとウラを語り尽くします。

書籍をスツールに、表紙の厚紙を「アタッチメント」に見立て、あえて書籍本体と表紙を接着しない造本は、デザイナー高室湧人によります。アタッチメントを外すと、シンプルな PUR 製本の書籍が「白い塊」としてあらわれます。その存在からは、「書籍とは」「建築とは」という知的な問いかけにも誘われるようです。

本書の展示会やトークイベントなどのお問い合わせは、版元・建築の建築までご連絡をお願い致します。

建築の建築 電話 03 6453 2465 メール iii@house-of-architecture.org

元木 大輔 | Daisuke Motogi (1981-)

建築家。DDAA / DDAA LAB 代表。CEKAI 所属。Mistletoe Community。2010 年、建築、都市、ランドスケープ、インテリア、プロダクト、プランディング、コンセプトメイクあるいはそれらの多分野にまたがるプロジェクトを建築的な思考を軸に活動する建築・デザイン事務所 DDAA 設立。2019 年、実験的なデザインとリサーチのための組織 DDAA LAB を共同設立。2020 年、著書「工夫の連続: ストレンジ DIY マニュアル」(晶文社) が出版。2021 年第 17 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展参加。

▶ ご注文はツバメ出版流通まで FAX 03-3721-1922

電話 03-6715-6121

メール info@tsubamebook.com

ウェブサイト tsubamebook.com

貴店名 (番線印)	発行 建築の建築	返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通: 川人
ご注文数	Hackability of the Stool スツールの改変可能性	
ご担当	冊	ISBN978-4-9911475-17 C1072 定価 5000 円 + 税